TOSHIBA
Leading Innovation

第176期定時株主総会

© 2015 Toshiba Corporation

会計処理の適切性に関する調査等の件

© 2015 Toshiba Corporation

この資料は、皆様のご理解に資する目的のみのために作成したものです。
そのため、一部事実関係を省略し、簡素化した枠組みにより模式化してご説明しておりますので、完全性、正確性は保証しておりません。

また、記載されている図表は実際の数値の規模感を示したものではありません。

© 2015 Toshiba Corporation

これまでの経緯

２月12日	報告命令受領
３月下旬	一部インフラ関連の工事進行基準案件に係る会計処理について調査を要する事項が判明
４月３日	特別調査委員会設置
５月８日	第三者委員会設置を決定
５月15日	第三者委員会委員を選任
５月29日	有価証券報告書の提出期限延長申請承認

© 2015 Toshiba Corporation

（１）自主チェックの結果

（２）工事進行基準

（３）映像事業における経費計上

（４）半導体事業における在庫の評価

（５）パソコン事業における部品取引

© 2015 Toshiba Corporation

（１）自主チェックの結果

（２）工事進行基準

（３）映像事業における経費計上

（４）半導体事業における在庫の評価

（５）パソコン事業における部品取引

© 2015 Toshiba Corporation

（1）自主チェックの結果

実施概要

・対象会社：当社及び当社連結子会社584社（合計585社）
・対象期間：2009年度～2015年5月末まで
・調査方法：会計基準や会社規程等に準拠していない事案又はその他不適切な会計上の取扱いの有無、認識の有無等について確認

調査結果

不適切な会計処理と認められた案件数

12件

2009年度～2013年度までの累積影響額

約36億円

© 2015 Toshiba Corporation

（１）自主チェックの結果

（２）工事進行基準

（３）映像事業における経費計上

（４）半導体事業における在庫の評価

（５）パソコン事業における部品取引

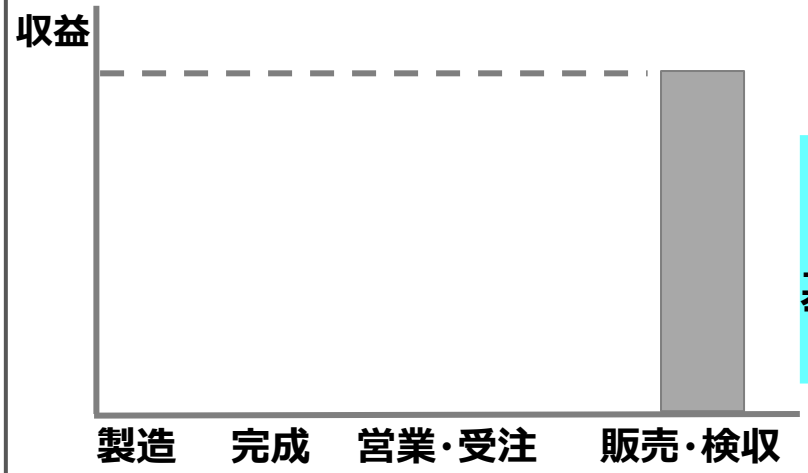
© 2015 Toshiba Corporation

（2）工事進行基準

①工事進行基準とは

請負工事等の工事契約に関して、工事の進行途中においても、
その進捗部分について、工事収益及び工事原価を認識する方法

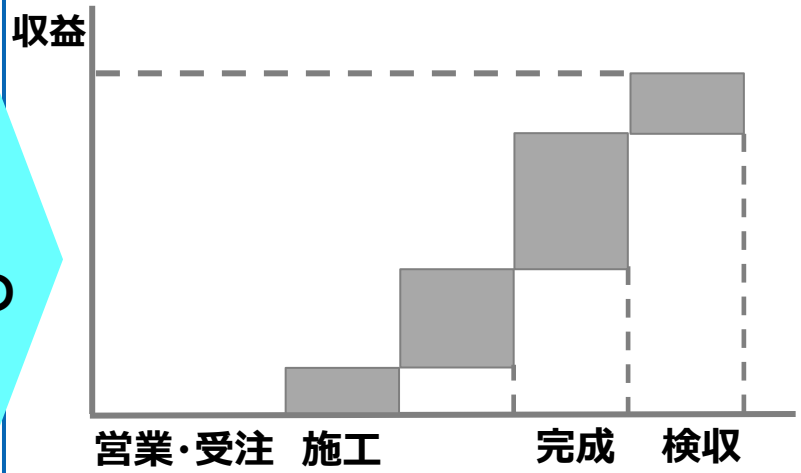
一般的な販売取引の収益認識



客先が**検収した時点**で収益を認識

工事進行基準の適用

工事進行基準による収益認識



進捗部分の割合に応じて収益を認識

© 2015 Toshiba Corporation

（2）工事進行基準

②工事進行基準の適用要件と問題点

適用要件

① 工事収益総額
② 工事原価総額
③ 工事進捗度（実際発生原価/工事原価総額）

信頼性のある見積りが必要

（※）工事原価総額が工事収益総額を超過する場合、超過額に対して引当金を計上する

適切な見積もりでない場合

工事原価総額の過小計上

■原因例
- ✓ 実現可能性の低い（コストダウンが難しい）目標値として工事原価総額を算定した
- ✓ 追加工事等により工事原価総額に含めるべき原価の計上漏れがあった

損失の遅延認識等

© 2015 Toshiba Corporation

（１）自主チェックの結果

（２）工事進行基準

（３）映像事業における経費計上

（４）半導体事業における在庫の評価

（５）パソコン事業における部品取引

© 2015 Toshiba Corporation

（3）映像事業における経費計上

映像事業の経理処理の適切性について調査を継続中

論点	詳細
引当金の計上時期	・販促費や広告宣伝費等の顧客からの請求遅延による経費の計上漏れ（※） **→ 費用の先送りになってしまっていた可能性**
将来原価との付替え	・当期にベンダーと値引契約を締結し、同時に翌期以降の仕入価格を増加させる契約を締結 **→ 将来の利益の先取となっていた可能性**

※ 調査の過程では、経理処理上は問題ないものと考えられる取引も存在

© 2015 Toshiba Corporation

（１）自主チェックの結果

（２）工事進行基準

（３）映像事業における経費計上

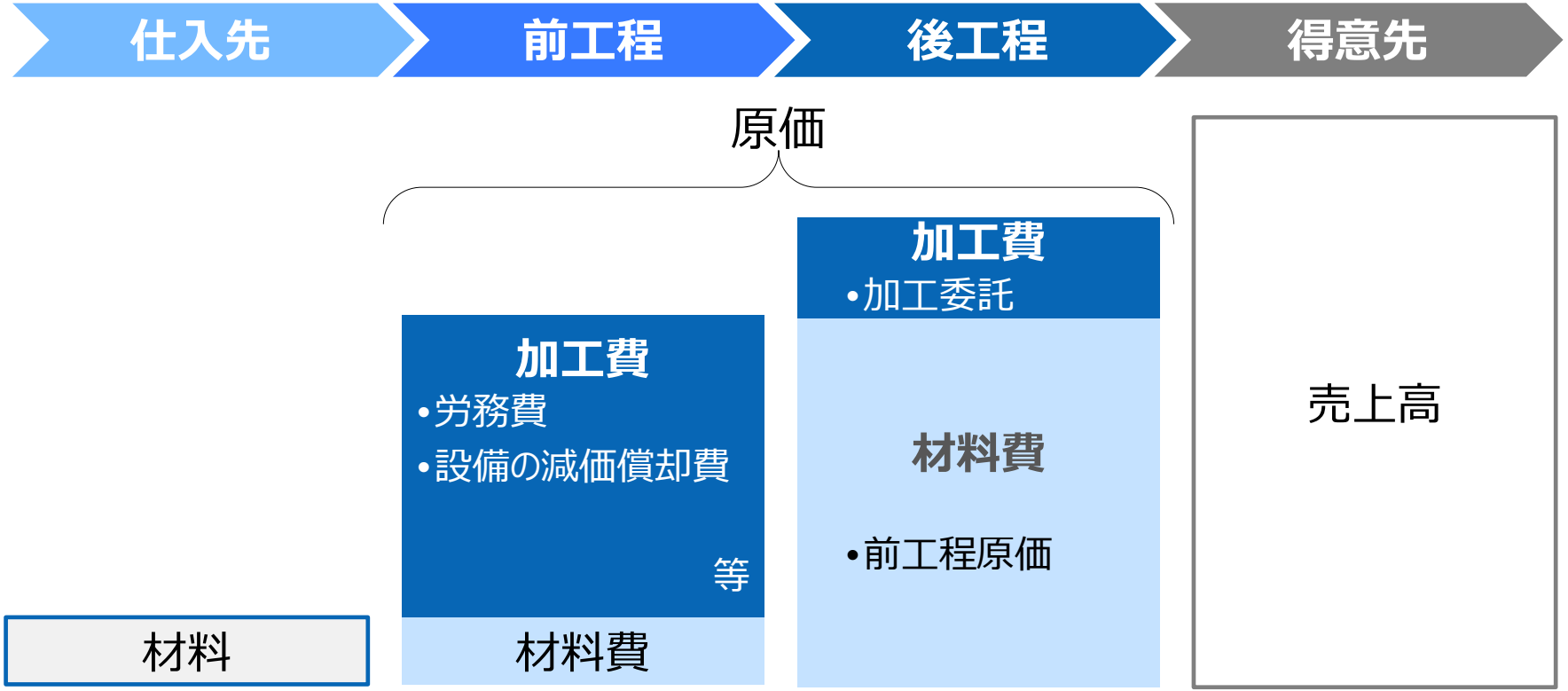
（４）半導体事業における在庫の評価

（５）パソコン事業における部品取引

© 2015 Toshiba Corporation

（4）半導体事業における在庫の評価

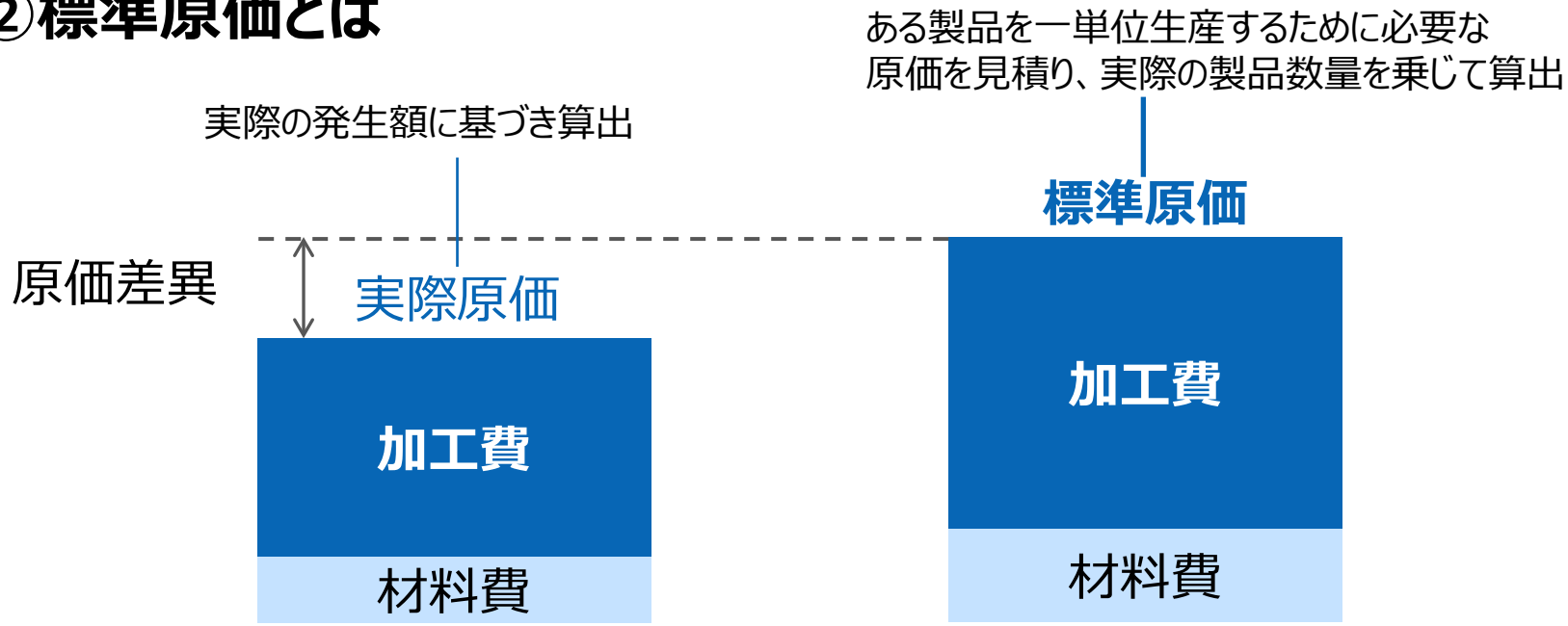
①半導体の前工程、後工程



© 2015 Toshiba Corporation

（4）半導体事業における在庫の評価

②標準原価とは



- 比較的多額の原価差異が生じた場合、売上原価と期末棚卸資産に配分
- 常にその適否を吟味し、重大な変化が生じた際には、現状に即するように改定

© 2015 Toshiba Corporation

（１）自主チェックの結果

（２）工事進行基準

（３）映像事業における経費計上

（４）半導体事業における在庫の評価

（５）パソコン事業における部品取引

© 2015 Toshiba Corporation

（５）パソコン事業における部品取引

- 部品は当社で一括して購入し、ODMに販売
- ODMに仕入値が明らかにならないよう、仕入額より高い値段で売却
- 契約上部品取引と完成品取引は独立
- 部品の実勢価格の下落によって、ODMへの部品売却価格との差額拡大
- 部品の相当部分が完成品に組み込まれて戻ってきている可能性

© 2015 Toshiba Corporation

TOSHIBA
Leading Innovation

第176期定時株主総会

© 2015 Toshiba Corporation

地球環境問題

人口増加と高齢化

安心・安全・快適な社会
Human Smart Community

by lifenology – the technology life requires

創る

送る

効率的な
エネルギー
の活用

賢く
使う

貯める

活用する

貯える

情報基盤を
支える
ストレージ

測る・
あつめる

解析する

予防

治療・
診断

健康で
いきいきした生活
ヘルスケア
の好循環

健康
増進

予後・
介護

資源・エネルギー問題

食糧・水・空気

情報社会化

エネルギー ～水素社会の実現～

水素地産地消

BCPモデル

業務用燃料電池自動車
水素ステーション

離島・遠隔地向け
水素エネルギー
供給システム

再生可能
エネルギー

ビル・工場向け
水素による
エネルギー管理

水素電力貯蔵システム

純水素燃料電池

青字：実用中
黒字：開発中

水素サプライチェーン

業務用
燃料電池
熱電供給

水素ガス
タービン発電

水素製造

© 2015 Toshiba Corporation

エネルギー ～再生可能エネルギーへの取組み～

水素社会実現に向けた展開加速

- 川崎市との共同実証開始（2015/4）
- スコットランド大規模実証試験参画（2015/4）
- 水素エネルギー研究開発センター開所（2015/4）等

自立型エネルギー供給システム
「H_2One」

地熱発電　世界シェアNo.1*

- ケニア最大容量 地熱発電所 運転開始（2015/2）
- インドネシア・サルーラ発電設備受注（2014/7）等

ケニア・地熱発電所

新発電システム　開発推進

- 海流発電システム実証研究開始（2014/12）等

*発電容量ベース、Bloomberg New Energy Finance（2014年8月）による

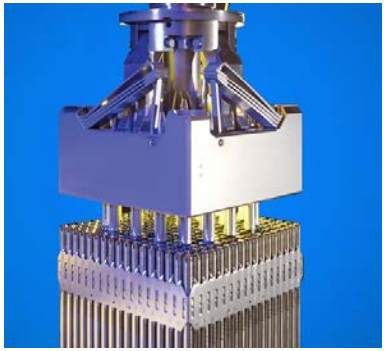
© 2015 Toshiba Corporation

エネルギー

原子力 燃料事業 拡大

2014年度受注 2,000億円規模

- 米国・パロベルデ原子力発電所（2015/1）
- フランス電力会社（2014/12）
- スウェーデン・オスカーシャム原子力発電所（2014/8）等



ウェスチングハウス社
燃料集合体

火力 蒸気タービン・発電機 受注獲得

米国火力 2014年トップシェア*

- 米国・アレン複合火力（2015/3）
- メキシコ・ノルテⅢ複合火力（2015/4）
- ベトナム石炭火力 ズエンハイ3 （2015/3）／ ビンタン4（2014/7）

高効率蒸気タービン

*発電容量ベース、McCoy Power Reportによる

© 2015 Toshiba Corporation

ストレージ

世界初 48層積層プロセス 三次元フラッシュメモリ「BiCS FLASH™」製品化（2015/3）

世界初 15nmプロセス NAND型フラッシュメモリ量産化（2014/4）

BiCS FLASH™
（左:製品外観、右:チップ構造）

車載向け画像認識半導体拡大

- 「Visconti™2」量産開始（2015/5）
- “夜間にも強い”「Visconti™4」製品化（2015/1）

「Visconti™4」搭載 先進運転支援システム(イメージ)

© 2015 Toshiba Corporation

ストレージ

フラッシュメモリ 生産体制強化

- **四日市工場**
  第5製造棟（第2期分）竣工（2014/9）
  15nmプロセスNAND型フラッシュメモリ 量産中
  新・第2製造棟 着工（2014/9）
  「BiCS FLASH™」専用工程 設置予定

四日市工場 新・第2製造棟(イメージ)

ディスクリート半導体 開発体制強化

- **加賀東芝エレクトロニクス**
  技術棟 着工（2015/3）
  パワー半導体・白色LEDなどの開発効率向上

加賀東芝エレクトロニクス 技術棟(イメージ)

© 2015 Toshiba Corporation

ヘルスケア

DNA検査システム事業強化

- **エボラ出血熱検査試薬　長崎大学と共同開発（2015/3）**
  日本政府からギニア政府に無償供与、現地で活用中
- **コメ品種識別用検査キット発売（2015/3）**

DNA検査装置「Genelyzer™Ⅱ」

ゲノム解析サービス開始（2014/12）

- **日本人ゲノム解析ツール「ジャポニカアレイ® 」*
  東北大学と共同開発（2014/11）**

コメ品種識別用
検査キット

ジャポニカアレイ®

産学官ヘルスケアモデルの実証

- **大分県・大分大学と認知症予防の実証研究開始（2015/4）**

*ジャポニカアレイ®は、国立大学法人東北大学の登録商標です

© 2015 Toshiba Corporation

ヘルスケア

CT競争力強化

- “低線量でも高画質”低被ばく機能を全機種搭載

MRI受注好調

- “きれい・簡単・コンパクト”な「Vantage Elan™」
  2014年度 受注累計190台

MRI装置「Vantage Elan™」

がんソリューション事業拡大

- 粒子線がん治療 IBA社*様と提携（2015/4）

開発・生産体制強化

- ヘルスケア開発センター開所（2014/12）
- マレーシア製造拠点 生産開始（2014/12）

ヘルスケア開発センター開所式

*Ion Beam Applications S.A.社

© 2015 Toshiba Corporation

イノベーションの創出

人間コミュニケーションロボット　ニュー・コンセプト・イノベーション

- 世界最高水準の人間らしい動き
- 福祉・ヘルスケア分野で活用（実用化目標 ～2020年）

コミュニケーションロボット
「地平アイこ」

量子暗号通信　バリュー・イノベーション

- 世界最高速、盗聴されない暗号鍵配信
- 国内初 実データによる実証実験 8/31開始予定
  （実用化目標　～2020年）

人工光合成　バリュー・イノベーション

- 太陽光を使って二酸化炭素から燃料原料を生成
- 変換効率*1 2.0%達成*2 植物で最高の藻類に（実用化目標　2020年代）

*1：太陽光エネルギーにより二酸化炭素と水から化学原料や燃料となる炭素化合物へ変換する効率
*2：*RSC Advances*, 2015, DOI: 10.1039/C5RA07179H

© 2015 Toshiba Corporation

再び皆様からの信頼を得られるよう、誠実な経営に取り組んでまいります

人と、地球の、明日のために。

TOSHIBA
Leading Innovation